

# 輪っしょい!

いちのせき  
協働ニュース

vol.24

2020年11月

わっしょい みんなでかつごう いちのせき

## “ダム”で藤沢から情報発信 ～藤沢の新しいお宝に～



「ダムカレー」を囲んで。FEST や青年部等のメンバー



企画会議でアイデアを出し合う様子



地元食材を使ったこだわりの「ダムカレー」

### 藤沢町住民自治協議会

会長 千田 博 E-mail fuji@dontokoi-f.com  
HP <https://www.dontokoi-f.com/>

【お問い合わせ先】  
藤沢市民センター  
電話：0191-63-5515

### 藤沢の3つのダムで地域おこし

藤沢町住民自治協議会では、若者グループ「FEST」が中心となり、藤沢地域の3つのダムを、農業だけでなく魅力ある地域資源として活用しようと、元気な地域づくり事業等を利用し、様々な活動に取り組んでいます。

藤沢地域の3つのダムのうち「相川ダム」と「千松ダム」のダムカードは国がすでに発行しており、今回、「金越沢ダム（ほろわ湖）」のダムカードを藤沢土地改良区と協力して新たに作成しました。

遠くは横浜市など、県内外からカードを求めて藤沢を訪れる方がおり、藤沢を知ってもらえる良い機会になっています。

また、ダムカードに続き、「ご当地ダムカレー」を企画。町内の飲食店等の協力で、藤沢の地元食材の豚肉、鶏肉、野菜などを使用したこだわりのダムカレーとダムカレースープは、ご飯やパンをダムの堤体に見たてた盛り付けで、来店者からも大変好評です。

「FEST」では、今後もダムをキーワードに、全国に藤沢の魅力を発信していきたいと考えています。

ダムとダムカレーを巡るマップの作成、ダムカードのイベントでの宣伝や、「まちあかりイルミネーション」への取り組みなど、土地改良区や商工会議所青年部と一緒に企画し、進めています。

昨年度は藤沢野焼祭でのボルダリング体験企画も好評でした。



金越沢ダムのダムカード

### メンバーからの一言



メンバーの岩山さん

地元で意外に知られていない「ダム」という藤沢の地域資源を生かすために、話し合って企画しました。これからも、たくさんの方が参加できるイベントなどを企画したいと頑張っています。一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。

いちのせき協働ニュース  
輪っしょい!の  
発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。

\*地域協働とは、地域の自治会、消防団やPTAなど各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。



## 各地域の協働の取り組み

### 老松みどりの郷協議会

会長 阿部 孝志

E-mail oimatu5153@gaea.ocn.jp

【お問い合わせ先】  
老松市民センター  
電話：0191-82-5153

「おもしろく おがすく さざほざど」をスローガンに掲げております、老松みどりの郷協議会です。

#### ただ今、地域づくり計画の見直しを行っています

当協議会では5月の臨時総会で「課題検討委員会」を設置し、地域づくり計画の点検や新たな課題の掘り起し作業に取り組んでいます。

まずは地域づくりの基礎となる集落の現状を把握するため、委員と職員が13ある集落を8月に訪問し、「集落課題懇談会」を開催しました。



「集落の課題ってなんだろう？」集落課題懇談会の様子です

#### ポンポン船はどうして動くの？

7月29日、30日開催の子ども教室では、動くおもちゃ「ポンポン船」づくりに挑戦しました。

多く子どもたちに体験してもらおうと、密を避け、2日間3回に分けて開催。

参加者は牛乳パックを切って船体をつくり、動力になるアルミパイプの固定に苦労しながらも、指導員のもと、なんとか全員完成させることが出来ました。

木っつ（木の枠）にブルーシートを敷いたプールに船を浮かべ、アルミパイプをろうそくで加熱すると熱せられたパイプからお湯が押し出され進み、お湯がなくなると一旦止まりますが、また水を吸って吐き出し進みます。子どもたちは不思議な現象に驚いた様子でした。



アルミパイプの固定に四苦八苦



## 各地域の協働の取り組み

### 摺沢振興会

会長 小原 雪男

E-mail surisawa\_hidamari@yahoo.co.jp

【お問い合わせ先】  
摺沢市民センター  
電話：0191-75-2229

#### 住民交流の場の創出

当振興会では、地域の人たちの交流の機会を増やす取り組みの一つとして『ことぶきカフェ』を開催。地域の高齢者団体が運営主体となり月2回サロンを開き、地域の人のみならず市民センター利用の団体や駅の利用者など、様々な人たちとの交流の輪が広がっています。

また、令和元年度には初めて地域の伝統品や農家の出店による『おはよう朝市』を開催しました。良い点と同時に改善点も見つかり、更なる地域の交流の場となるよう次回開催に向けて動いていきたいと思ひます。



昨年7月に開催した「おはよう朝市」

※本年度はコロナウイルス感染症対策として「ことぶきカフェ」では換気や消毒等に注意しながら活動をしており、おはよう朝市は開催を見送っております。

#### 歴史を伝えていく

平成29年度から歴史標柱の更新設置を継続して行っています。更新に合わせ、標柱の説明書きを分かりやすいものにしていくよう、構成団体である摺沢史談会が中心となって事業を進めています。

また、平成30年度には摺沢歴史マップを発行。標柱設置史跡や地区の神社・仏閣、摺沢の史実が残っている場所を一覧にまとめました。



摺沢歴史マップと更新設置した歴史標柱



# きらり★輝く

FILE  
11

きらりと輝く地域づくりに  
取り組んでいる方々や団体等を  
ご紹介します。

## KMYプロジェクト実行委員会

【お問合せ先】事務局：狐禅寺市民センター  
電話：0191-21-2155

川を楽しむ  
狐禅寺キッズ



### ★川遊びを通して地域に愛着を

KMY（狐禅寺・みんなして・やっぺし）プロジェクト実行委員会では、狐禅寺地区住民が中心となり、活力ある地域づくりを進めています。

8月2日には、狐禅寺地区を流れる滝沢川で「川遊びまつり in 滝沢川」を開催。地域の子もたちがライフジャケットを着て川下りや水生生物の観察を行ったり、水中に設置された生けすの中でイワナのつかみ取りに挑戦したりしました。

川遊びなどを通じて川に親しみ、自然環境保護について学ぶ機会を提供することで、地域への愛着心を育てています。

### これからの事業

11月にはサケの遡上観察会、令和3年2月にはサケの稚魚放流を予定。  
また現在、地域の魅力をPRする動画を作成する活動も行っています。

## 千厩街道着物まちあるき実行委員会

【お問合せ先】代表：菅原 利和  
電話：090-8859-5928

「千厩街道着物まちあるき実行委員会」



### ★和服が似合う街“一関”の魅力を発信!!

当会は、和服が似合う一関市の街並みや自然の風景を全国に発信する、和服ロケーション撮影事業を行っています。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で市内各地で行われている夏祭りが全て中止となり、和服（浴衣等）を着る機会が無くなってしまいました。そこで、当会では少しでも夏を楽しんでいただこうと、千厩地域で開催されたアンブレラスカイを皮切りに、市内で3回浴衣撮影会を開催しました。みんなが笑顔になるような和服イベントを今後も計画実行していきたいと思えます。



和服で地域を  
元気に!!

### 撮影地募集

みんながまだ気付いていない、街の『和服映え』する撮影地を募集しています。  
「ここがお勧め!」という一関市のSNS映えスポットを教えてください。

## 賢治を読む会

【お問合せ先】事務局：石と賢治のミュージアム  
電話：0191-47-3655



みんなで楽しく  
輪読をしています

### ★賢治の愛した地で、賢治の作品に触れる

賢治を読む会は平成20年9月に設立。毎月最終土曜日の午前中に、石と賢治のミュージアムに会員が集まり、賢治の作品を朗読しながらその世界への理解を深めています。

賢治は、手帳とペンを首からぶら下げ野山を歩き、その中で大自然から音楽や詩の着想を得たと言われています。このため賢治の物語は、文字を目で追うよりも音読することで、その情景やストーリーが実にいきいきと伝わってきます。

これからも賢治の愛したここ『東山』で、賢治の作品を読み、発表しながら交流活動に取り組みます。

### 賢治の世界と一緒に 楽しむ会員募集中!

音読は健康にも良いとのこと! 集まりでは、一人ひとりが作品を音読します。  
仲間の声に静かに耳を傾ける、貴重な時間です。

あなたの参加が地域づくりへの第一歩。地域への参画を通じて、魅力あるまちづくりを進めていきましょう!

第13回

# 市民センターの今、ココが熱い!

【お問合せ先】  
弥栄市民センター (弥栄地区まちづくり協議会)  
電話：0191-43-2346  
f 弥栄地区まちづくり協議会(弥栄市民センター)

当市民センターは、令和2年4月に弥栄地区まちづくり協議会が指定管理者となり、市民センター事業を展開しています。これまで以上に地域に根ざした活動を展開していきたいと思っています。

## 今回の「ココ熱」①

### 『やさかえりんく♡』

事業が中止や延期となる中、地域の人と人との繋がりをつくっていく方法はないかと作戦会議を開き「集まらずにつながる」方法を模索しました。そして、たどり着いたのが「やさかえりんく」です。「やさかえりんく」は、地域の方々のお宅にインタビューに伺い、その動画をFacebookにアップし元気をお届けしようというものです。テーマは「漢字一文字にメッセージをのせ、地域みなさんに勇気と元気を！」です。

初回は、快く賛同してくださった1区の金田行政区長さんです。次のメッセンジャーは前回の方が推薦し、バトンタッチで繋いでいく方式です。温かいメッセージがたくさん寄せられています。是非、Facebookをご覧ください。元気をもらえますよ…!

一区長さんスタートに繋がれていく、メッセージの「バトンリレー」



所長がインタビューしています



## 今回の「ココ熱」② 『弥栄百歌選』

45年前に、公民館事業として地域の名所旧跡や年中行事にまつわる短歌を募集し、選ばれた百首が「弥栄百歌選」。

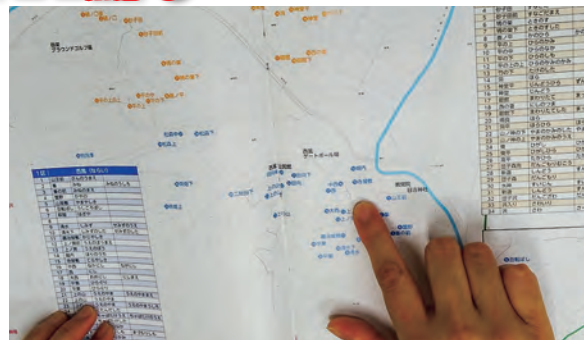
自粛をきっかけに、改めて地域内の文化に目を向けようと「弥栄百歌選」に注目し、当時の詠み手の方を講師に迎え歴史講座を開催しました。受講者の中にも当時の詠み手が参加。

講師、受講者とも、歌が詠まれた時代背景を聞き、伝え、歌の意味を深く学ぼうと、お互いの募る思いに、いつにも増して熱い講座となりました。



歌に込められた思いを語り合う参加者

## 今回の「ココ熱」③ 『屋号マップ』



家の場所を、呼びなれた屋号で表したマップ

代々その家に伝わる「屋号」を記録に残す事業として、「屋号マップ」作成に取り組んできました。屋号は住所より馴染みがあってわかりやすいことから、地域の歴史や時代背景などを知るためにも形にして残そうと、老人クラブで実行委員会を組織し2年がかりで取り組んで来たものです。個人情報に注意しながら編集を進め、完成させることができました。地区内の全世帯に配布し、とても好評です!

